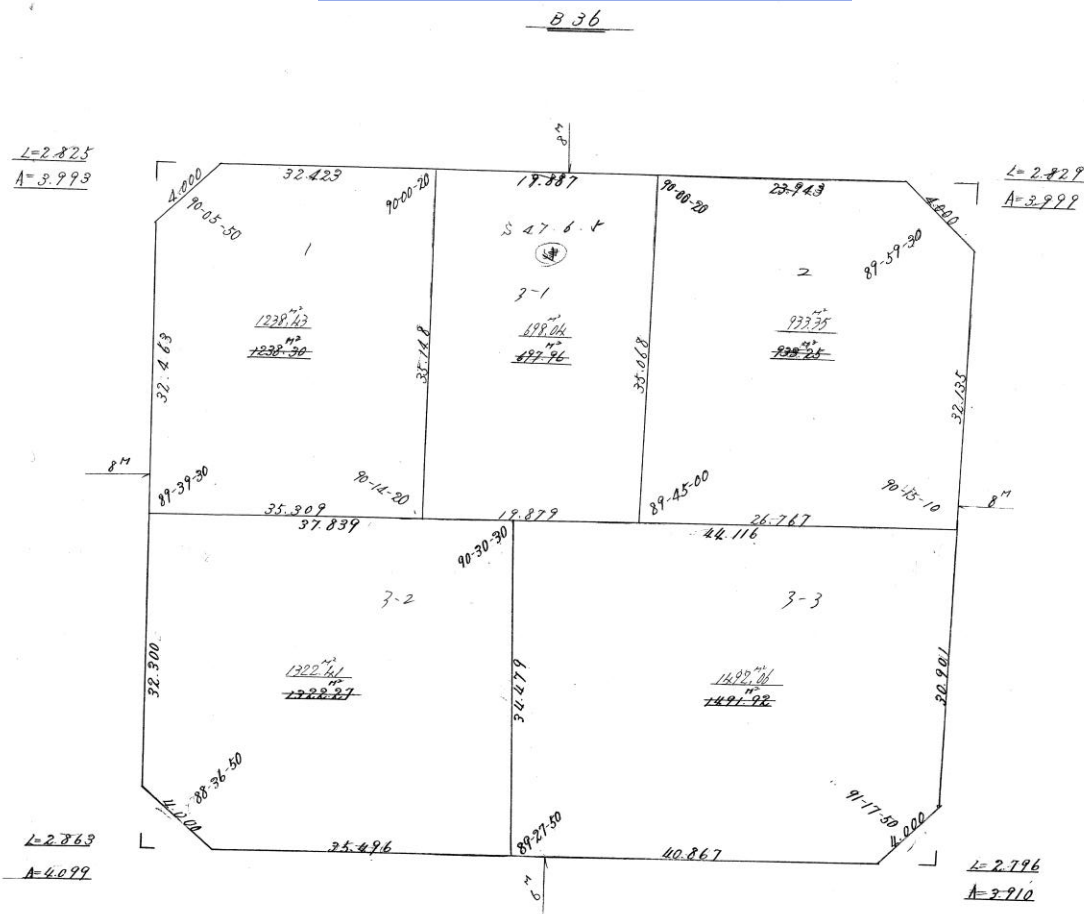


公共座標参考値の算出作業（座標化）手順について

市街地整備部 区画整理課 測量担当

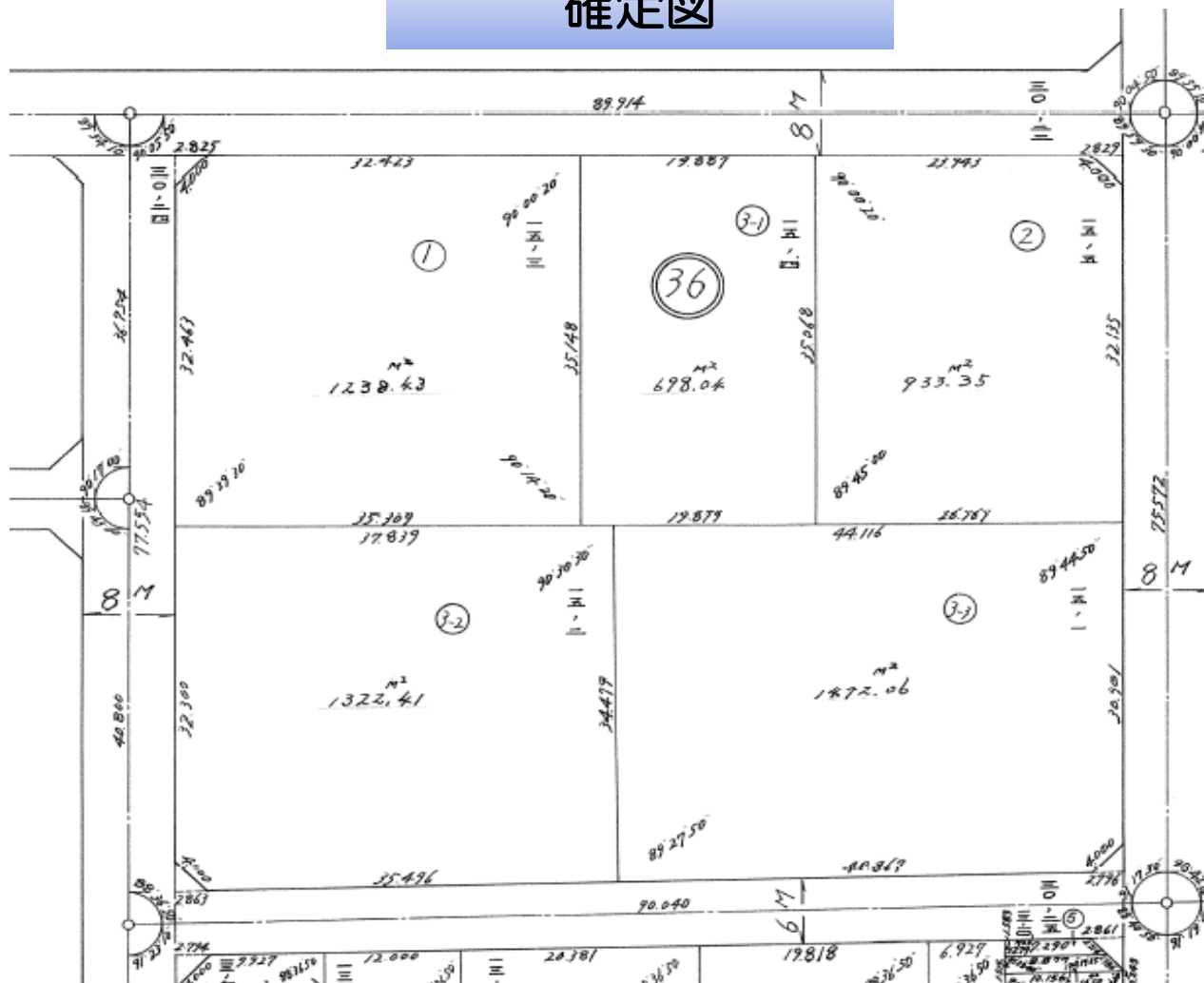
公共座標参考値算出作業（座標化）の準備

画地確定計算書



◎座標化を行う資料として、区画整理事業で作成された画地確定計算書を使用します

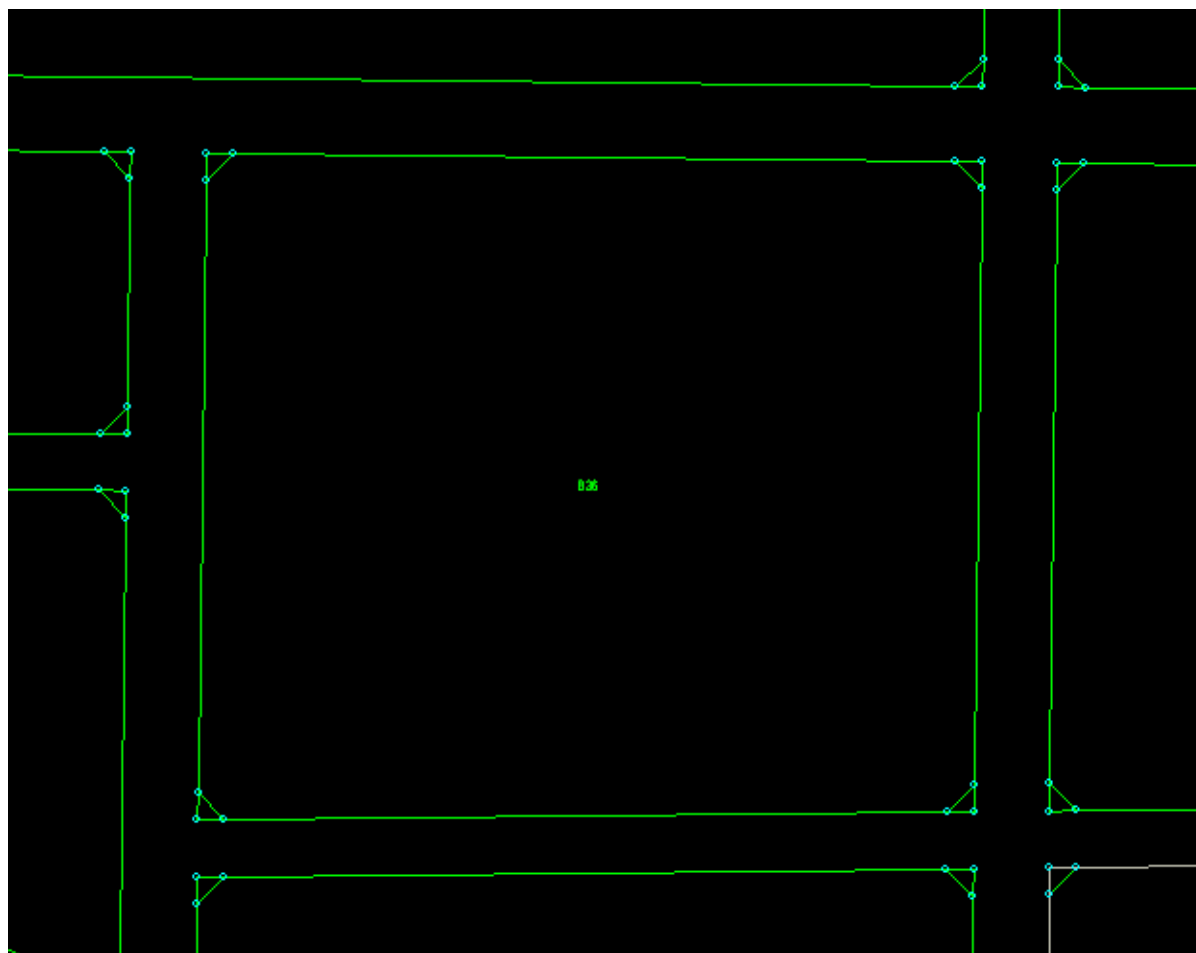
確定図



◎先ほどの画地確定計算計算書を元に作成された確定図を使用します

公共座標参考値算出作業（座標化）の準備

道路区域境界線の世界測地系座標



◎建設局が作成した世界測地系座標の道路区域境界線を使用します

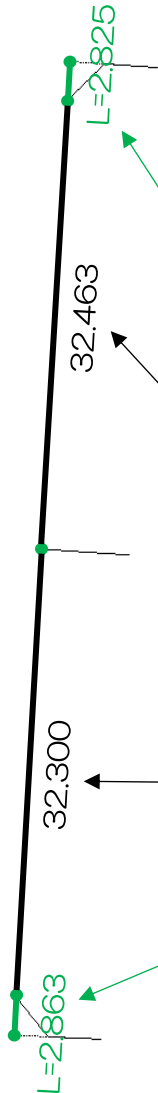
距離面積入力表の作成

間口距離合計表 (L含む)

Lの距離を記入					道路区域線距離	交点間距離	計算書街区合計距離	距離誤差
L	2. 825	～	2. 863	L	64. 806	70. 494	70. 451	0. 043
L	2. 863	～	2. 796	L	76. 384	82. 043	82. 022	0. 021
L	2. 796	～	2. 829	L	63. 048	68. 673	68. 661	0. 012
L	2. 829	～	2. 825	L	76. 248	81. 902	81. 907	-0. 005

計算書間口合計表

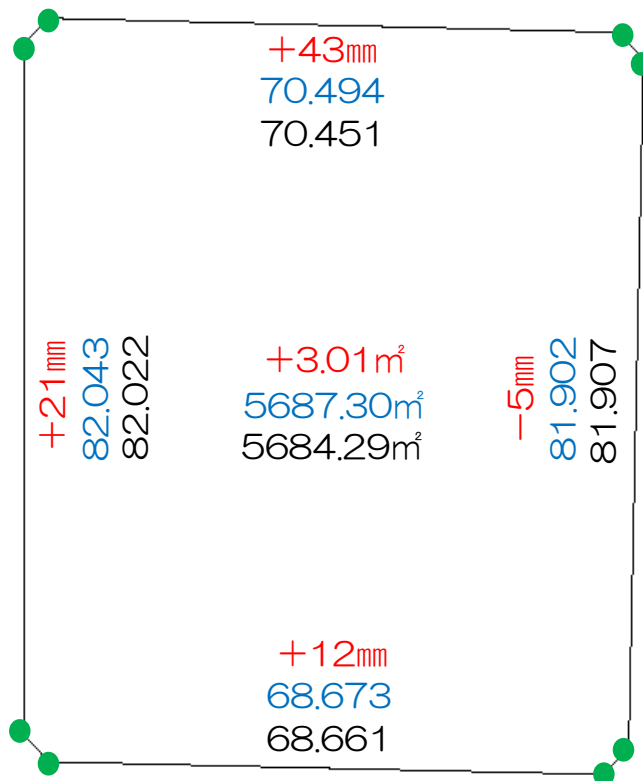
点間								
L	～	～	～	～	～	～	～	～
含む								
	2. 825	2. 863	2. 796	2. 829				
	32. 463	35. 496	30. 901	23. 943				
	32. 300	40. 867	32. 135	19. 887				
	2. 863	2. 796	2. 829	32. 423				
				2. 825				
	70. 451	82. 022	68. 661	81. 907	0. 000	0. 000	0. 000	0. 000



道路区域境界線の世界測地系座標との比較

(例) 上福島鷺洲工区 B36

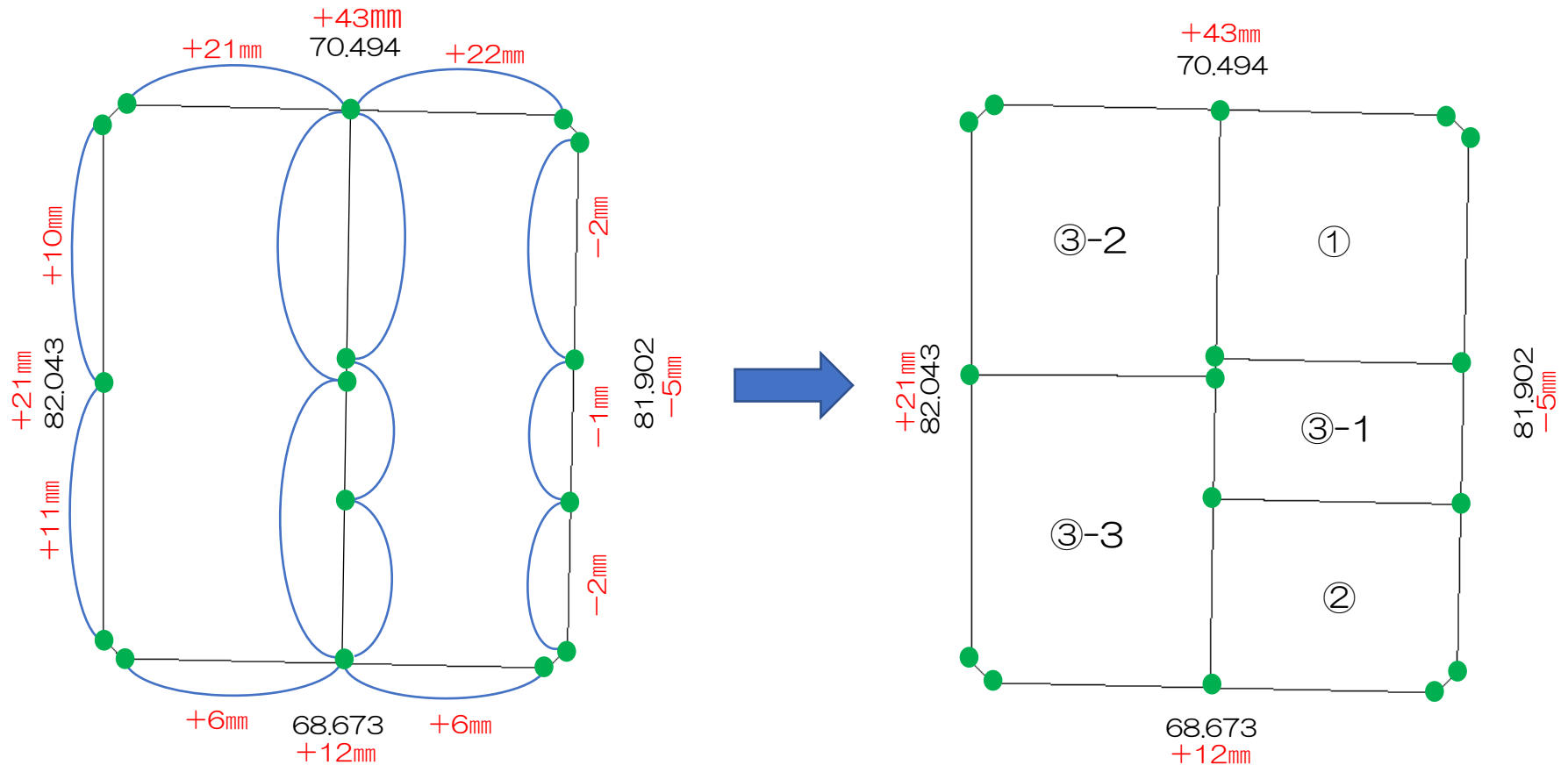
赤字 確定図の面積及び計算書の辺長と座標化後の比較
青字 道路区域線の世界測地系座標の面積及び辺長
黒字 確定図の面積及び計算書の辺長



◎こちらの例の街区の場合、道路区域境界線の世界測地系座標の街区と比較すると、街区の距離・面積に誤差があります。この誤差については道路区域境界線を決定する際、公共基準点から道路中心線を現況でおさえ、その道路中心線から拡幅計算をし道路区域境界線を作成するために出てくるものであると考えます。

距離の誤差配分（比例配分）

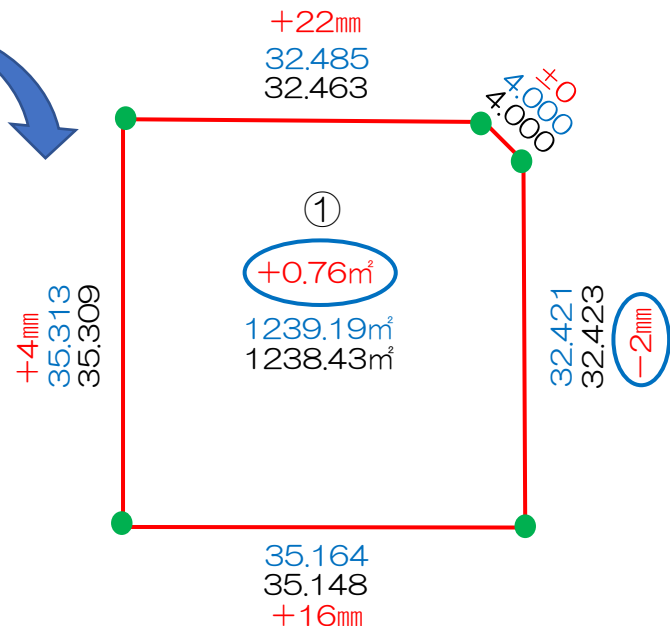
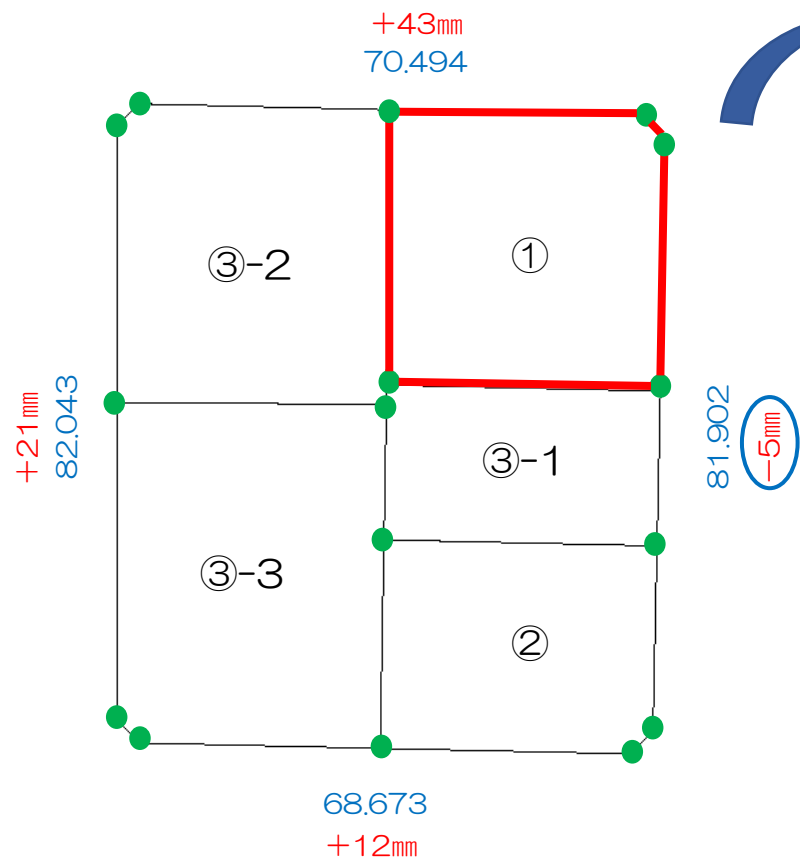
（例）上福島鷺洲工区 B36



◎距離の誤差配分については、左側の辺長が計算書の距離と世界測地系の距離と比較してプラス21mmなのでそれぞれの画地の表間口に比例配分をします。右側の辺長はマイナス5mmなのでマイナス配分をします。上下の辺長も、計算書の距離と世界測地系の距離を比較しそれぞれ比例配分します。配分でできた点同士を結ぶと裏間口に当たる線ができるので、この辺長も計算書の距離と世界測地系の距離と比較し、同じように比例配分をし裏間口の点を作成します。作成した点を結びそれぞれの画地を作成していきます。

画地の確定

(例) 上福島鷺洲工区 B36



赤字 確定図の面積及び計算書の辺長と座標化後の比較
青字 座標化後の面積及び辺長
黒字 確定図の面積及び計算書の辺長

◎最後に作成した画地の確定を行います。

右上の符号①の場合、確定図の面積と座標化後の面積とを比較しプラスになっているか誤差を確認します。街区の辺長がマイナスの箇所も存在しますが、その場合はマイナス配分になり計算書よりも画地の辺長がマイナスになる場合があります。また、画地の面積については確定図よりもプラスになることがほとんどですが、マイナスになる場合もあります。